

3 スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 施設の概要

スポーツ・レクリエーション系施設は、スポーツ施設とレクリエーション・観光施設からなります。

本市のスポーツ施設は45施設あり、市町村合併前の各地区に分散して立地しています。また、レクリエーション・観光施設は4施設あり、新湊地区に2施設、大島地区に1施設、大門地区に1施設立地しています。

平成27年4月1日現在

施設分類	施設数	施設名	所有状況	管理形態	代表建築年度	経過年数	耐震補強	総延床面積 (㎡)	代表建築物構造
スポーツ施設	45施設	1 新湊総合体育館	市有	指定管理	S61	29	不要	8,853.62	SRC
		2 小杉総合体育センター	市有	指定管理	H04	23	不要	6,762.00	SRC
		3 小杉体育館	市有	指定管理	S56	34	未	4,294.63	SRC
		4 大門総合体育館	市有	指定管理	S57	33	不要	3,213.87	SRC
		5 大島体育館	市有	指定管理	H12	15	不要	3,967.00	RC
		6 下村体育館	市有	指定管理	S60	30	不要	1,225.00	RC
		7 大島中央公園コミュニティ体育館	市有	市民協働	S63	27	不要	403.83	W
		8 海老江体育館	市有	市直営	S55	35	未	549.45	S
		9 七美体育館	市有	市直営	S57	33	不要	499.67	S
		10 本江体育館	市有	市直営	S55	35	未	495.76	S
		11 サン・ビレッジ新湊	市有	指定管理	H08	19	不要	299.75	RC
		12 大島中央公園コミュニティ広場	市有	市直営	H04	23	不要	148.02	RC
		13 歌の森運動公園多目的グラウンド	市有	市直営	-	-	-	-	-
		14 下村グラウンド	市有	指定管理	-	-	-	-	-
		15 本江グラウンド	市有	市民協働	-	-	-	-	-
		16 七美公園グラウンド	市有	市民協働	H02	25	不要	43.00	RC
		17 水戸田グラウンド	市有	市民協働	S55	35	不要	45.98	RC
		18 榎田グラウンド	市有	市民協働	S55	35	不要	49.80	SRC
		19 浅井グラウンド	市有	市民協働	-	-	-	-	-
		20 太閤山グラウンド	市有	市民協働	-	-	-	-	-
		21 大江グラウンド	市有	市民協働	-	-	-	-	-
		22 防災広場	市有	市民協働	H14	13	不要	33.46	RC
		23 奈呉の江東公園グラウンド	市有	市直営	-	-	-	-	-
		24 奈呉の江西公園グラウンド	市有	市直営	-	-	-	-	-
		25 庄川左岸緑地多目的広場	市有	市直営	-	-	-	-	-
		26 大島北野河川公園多目的広場グラウンド	市有	市民協働	-	-	-	-	-
		27 新湊テニスコート	市有	指定管理	S62	28	不要	51.60	RC
		28 下村テニスコート	市有	指定管理	-	-	-	-	-
		29 歌の森運動公園テニスコート	市有	市直営	-	-	-	-	-
		30 堀岡緑地テニスコート	市有	市直営	-	-	-	-	-
		31 歌の森運動公園野球場	市有	市直営	H08	19	不要	823.00	RC
		32 薬勝寺池南公園野球場	市有	市直営	H20	7	不要	56.19	S
		33 堀岡緑地野球場	市有	市直営	-	-	-	-	-
		34 庄川左岸緑地野球場	市有	市直営	-	-	-	-	-
		35 薬勝寺池南公園サッカー場	市有	市直営	-	-	-	-	-
		36 グリーンパークだいもん相撲場	市有	市直営	-	-	-	-	-
		37 太閤山公園相撲場	市有	市直営	-	-	-	-	-
		38 大島弓道場	市有	指定管理	H05	22	不要	801.20	S
		39 海竜スポーツランド	市有	指定管理	H10	17	不要	3,397.27	RC
		40 パークゴルフ南郷	市有	指定管理	H18	9	不要	250.09	W
		41 下村パークゴルフ場	市有	指定管理	H11	16	不要	532.68	S
		42 中山公園パークゴルフ場	市有	市直営	H16	11	不要	19.84	軽量S
		43 万葉パークゴルフ場	市有	市直営	-	-	-	-	-
		44 グリーンパークだいもん中央緑地広場	市有	市直営	-	-	-	-	-
		45 下村馬事公園	市有	指定管理	H07	20	不要	593.39	W
小計								37,410.10	
レクリエーション施設 観光施設	4施設	1 いみず観光情報館	市有	市直営	H16	11	不要	167.67	S
		2 大島北野河川公園ピクニック広場バーベキュー卓	市有	指定管理	-	-	-	-	-
		3 庄川水辺の楽校	市有	市直営	-	-	-	-	-
		4 串田新遺跡公園	市有	市直営	S55	35	不要	19.13	RC
小計								186.80	
合計								37,596.90	

構造凡例 S：鉄骨造,RC：鉄筋コンクリート造,SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、W：木造

海老江体育館は平成27年度末で廃止

(2) 施設の現状と個別の基本的な考え方

1) スポーツ施設

施設の現状

スポーツ施設

体育館

建物状況

- ・体育館は 10 施設中（平成 27 年 4 月現在） 6 施設が築 30 年以上と老朽化し、うち 3 施設では耐震安全性が確保されていない状態です。
- ・主要体育館では、小杉体育館、大門総合体育館、下村体育館が、建築後 30 年以上経過しています。

利用・運営状況

- ・主要体育館 6 施設には、指定管理者制度を導入しています。
- ・利用については、アリーナ利用のほか、その他トレーニングや卓球、柔剣道の利用など、施設の設備に合わせた利用となっています。

コスト状況

- ・主要体育館における利用者 1 人当たりコストは、小杉体育館（0.39 千円）と下村体育館（0.90 千円）では 2 倍以上の差が生じています。また、1 m²当たりのコストについても、大門総合体育館（7.5 千円）と下村体育館（10.9 千円）では 3.4 千円の差が生じています。

グラウンド

建物状況

- ・サン・ビレッジ新湊には、トレーニング室を有する管理施設を有していますが、その他の施設は、器具庫やトイレ等の建物となっています。

利用・運営状況

- ・主要グラウンドにおいて、グラウンドとしての利用が最も多いのは歌の森運動公園多目的グラウンドとなっています。サン・ビレッジ新湊については、建物施設を有しているため、利用者 1 人当たりコストが最も高くなっており、施設のあり方を検討する必要があります。

コスト状況

- ・各グラウンドの状況に応じて、指定管理者制度の導入、市民協働事業による管理を進め、利用者の利便性の確保及びコストの削減に努めています。

パークゴルフ場

建物状況

- ・パークゴルフ場 4 施設のうち、パークゴルフ南郷、下村パークゴルフ場にはクラブハウス、中山公園には事務所の建物を有していますが、築 20 年以上を経過している施設はありません。

利用・運営状況

- ・パークゴルフ南郷と下村パークゴルフ場は指定管理者制度を導入し、中山公園パークゴルフ場と万葉パークゴルフ場については市直営として、施設管理を委託しています。

コスト状況

- ・パークゴルフ南郷と下村パークゴルフ場は有料施設となっていますが、中山公園パークゴルフ場と万葉パークゴルフ場は無料施設としています。

その他体育施設（大島弓道場、海竜スポーツランド、下村馬事公園）

建物状況

- ・大島弓道場は築 22 年、下村馬事公園施設は築 20 年が経過しています。

利用・運営状況

- ・3施設ともに指定管理者制度を導入しています。

コスト状況

- ・大島弓道場の利用者 1 人当たりコストは 0.53 千円、海竜スポーツランドは 0.97 千円、下村馬事公園は 1.31 千円となっています。

基本的な考え方

スポーツ施設

将来のあるべき姿

- ・体育館は、使い勝手の良い拠点型施設に集約・統廃合され、施設機能の充実・強化が図られています。また、利用施設・利用機会は、学校開放やコミュニティセンター大集会室等の活用により確保され、スポーツ振興及び健康維持・増進に寄与しています。
- ・グラウンドは、避難場所の機能を備えた施設が存続しています。また、主に地域住民のみが利用するグラウンドは地域に移管され、地域のスポーツ振興が図られています。

個別の基本的な考え方

- ・主要体育館は、現在の利用状況、コスト面、市民ニーズを分析するとともに、施設利用方法の見直し、施設の機能集約の検討、利用者の分散方法などを整理し、目標年次までに使い勝手の良い、拠点型 2 館体制への移行を目指します。
- ・「海老江体育館」については、施設は廃止し、射北中学校体育館の学校開放等で対応します。
- ・グラウンドは、本来の目的を考慮しつつ、避難所となる施設以外は、原則として廃止又は移管を検討します。
- ・「本江グラウンド」、「水戸田グラウンド」、「櫛田グラウンド」、「浅井グラウンド」については、平成 27 年度から管理を地域へ移管し、存続しています。
- ・「旧大江グラウンド」については、北陸新幹線北側及び南側部分ともに売却を進めます。

- ・「太閤山公園相撲場」については、大規模改修必要時に廃止することとし、民間企業により新たに整備される同様の施設があれば、その有効利活用を図ります。
- ・存続施設は、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、「予防保全型」による対策を実施するとともに、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の長寿命化を図ります。

施設分類名	現在保有面積 (H27.4.1 現在)	削減想定面積 (40年間)
スポーツ施設	37,410 m ²	15,000 m ² (40%程度)

2) レクリエーション・観光施設 施設の現状

レクリエーション・観光施設
<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション・観光施設の主となる施設は「いみず観光情報館」です。「いみず観光情報館」は平成27年2月に購入し、平成27年4月に市内観光情報発信拠点として設置した施設であるため、平成26年度のコストは減価償却費のみとなっており、施設運営に係るコストについては、今後把握していくこととなります。

基本的な考え方

レクリエーション・観光施設
将来のあるべき姿
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設は、市内観光情報発信拠点として、効果的で充実した運営が行われています。
個別の基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の利用状況、コスト面、求められている施設のあり方を分析し、目的に応じた施設規模の最適化を図ることを検討します。 ・存続施設は、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、「予防保全型」による対策を実施するとともに、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の長寿命化を図ります。

施設分類名	現在保有面積 (H27.4.1 現在)	削減想定面積 (40年間)
レクリエーション・観光施設	186 m ²	0 m ² (0%)